

新年を迎えて

藤崎町老人クラブ連合会会長 館山新一



あけましておめでとうございませす。会員の皆様におかれましては、健康やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。元号も昭和は遠くなり、平成は思い出に、そして新しい令和となり二年目、今年もオリンピックの開催も控えて、何か新しい輝かしい年になるような期待が膨らんでいます。会員の皆様も昭和39年の東京オリンピックを思い出しているのではないのでしょうか。高度成長期の日本がひとつとなり、オリンピックに沸きあがり、当時高校生の私もテレビの前で応援したことを思い出しています。

平成から令和に代わったこの一年の老連の活動も、恒例の平田町長による町政報告会の新年研修会から始まり、県知事・県老連会長からの受賞祝賀会と今年も会員の活動が評価され誇りに感じました。トランプ大会も大盛況で年々参加者も増えてきました。

「昔の遊び」「遊びランド」に各小学校の子供たちと一緒に遊び、楽しみ、童心に返り一時を過ごしました。春のウォーキングは藤崎町の名勝旧跡を散策して、藤崎町の歴史の重さや深さを再発見しました。グラウンドゴルフ大会やペタンク大会も大いに盛り上がり「交通安全生活安全防犯教室」では交通事故、事件に巻き込まれないように毎日の生活を振り返り注意するようになりました。健老の集いも記念講演と保育園児の遊戯で楽しくお祝いすることができました。

役員研修会では六ヶ所村の原子力サイクル施設の見学と原燃PRセンターの説明で、日本の原子力の重要性も研修することができ、懇親会では日頃の活動状況を話し合いやカラオケで盛り上がりました。年末の中南郡老連と共催の芸能発表会は、当老連が中心で、歌あり、踊りあり、拍手と笑いで大いに盛り上がり、楽しい一年として締めくくることができました。老連の活動の目標である「健康・奉仕・友愛」のもと、今年も町老連の「明るく、元気で、仲良く、地域に役立つこと」を目指して挑戦してまいります。

会員増強は厳しい状況ではありますが、町老連の活動の原点は「単位クラブ」と「専門部会」の充実にあります。町老連も全面的に応援していきます。会員一人ひとりが一声掛け合って仲間を増やし、楽しい町老連にしていきたいでしょう。結びに、会員の皆様方の御健勝と新しい年が素晴らしい一年になりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

発行者

藤崎町老人クラブ連合会
広報委員会
藤崎老人福祉センター内
電話 七五―三三三三

西中野目長寿会

全国老人クラブ連合会長表彰受賞

この度、西中野目長寿会が全国老人クラブ連合会会長(清家篤会長)より表彰を受けました。

西中野目長寿会(石井哲子会長)は旧藤崎町で最初(昭和40年4月)に結成された歴史ある老人クラブです。業績は花壇整備、地域の清掃活動などの美化活動を地道に続け、会員相互の交流も活発に行ってきたことが評価され、今回の受賞になったものです。

12月5日(木)、石井哲子会長・佐藤ツエ會計・館山新一町老連会長の三人が、平田博幸町長を訪問し受賞報告をしました。

なお、来る1月17日(金)に行われる新年研修会・受賞祝賀会で会員に披露されます。

中南郡老連交流事業 開催

中南郡老連(大鰐町・田舎館村・西目屋村・藤崎町四町村で構成)では、三つの事業が毎年持ち回りで行われている。今年度は「スポーツ交流会」(大鰐町老連主管)、「健康講話」(田舎館村老連主管)、「芸能発表会」(藤崎町老連主管)の三事業を計画・実施した。

「スポーツ交流会」

(大鰐町老連主管)

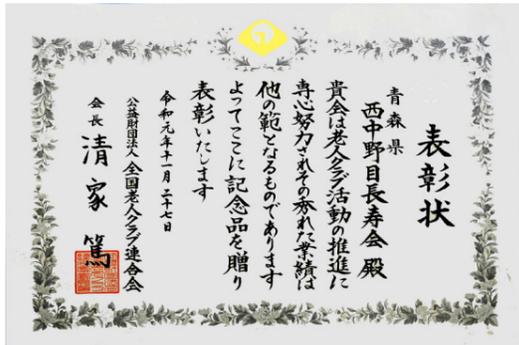
10月12日(土)、雨天のため大鰐町総合福祉センターで、グラウンドゴルフ大会に加えペタンク大会も行い、室内実施に変更して開催した。各町村とも役員主体の参加で



グラウンドゴルフ入賞者

りが一声掛け合って仲間を増やし、楽しい町老連にしていきたいでしょう。結びに、会員の皆様方の御健勝と新しい年が素晴らしい一年になりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

表彰状



したので顔見知りが多く、交流と親睦が深められた。競技終了後は全員が昼食を共にし、歓談後に表彰式を行った。町老連の選手はよく頑張りをペタンク大会は決勝で藤崎町同士で競い、優勝と準優勝を獲得した。

「健康講話」(田舎館村老連主管) 田舎館村老連結成50周年記念式典の記念講演として行われたものを、広く中南郡老連の方々に向けて頂くために「中南郡老連健康講話」として開催した。講師は、日本赤十字社青森県支部総務課長 吉川靖之氏。演題は「災害への備え」。



ペタンク優勝 (藤崎)

という時のために、氏が阪神大震災、三陸はるか沖地震、北海道奥尻島津波災害、台風19号災害救援などを経験した災害や救援活動の経験を通して講演した。内容は、田舎館村ハザードマップによる地震の震度予想及び水害地域の把握などをスライドで説明した。(一部を下表に示す)

豪雨災害を生き残る

- ・台風上陸前の情報に注意!
- ・「災害級」、「記録的」、「猛烈」、「数十年に一度」などのキーワードを見逃さない!
- ・台風が接近する前に準備を終える!(車両の避難、田んぼ等)
- ・台風が上陸する前に安全な場所へ避難!
- ・避難所へ行ったからといって、入れるとは限らない。また、安全とは限らない!
- ・避難勧告を待っていると逃げ遅れる可能性あり!
- ・避難困難な場合は、自宅の2階や、近所の高層マンションなどへ垂直避難!

水の事故は100%防げます!

町老連 新年研修会 受賞祝賀会のお知らせ

- 一、日時 1月17日(金) 10時30分～14時
- 二、場所 町文化センター 多目的ホール
- 三、日程
 - ①受付 10時00分～10時30分
 - ②開会式 10時30分～10時40分
 - ③講話 10時40分～11時20分

演題 「住みよい町づくりと高齢者対策について」
講師 藤崎町長 平田 博幸氏

冬季トランプ大会のお知らせ

- 一、日時 2月8日(土) 午前10時開会(受付9時30分)
- 二、場所 藤崎老人福祉センター集会所
- 三、対象者 町内老人クラブ会員で男女は問いません。
- 四、種目 個人戦のみ(午前2試合、午後2試合)
- 五、会費 一人 壹千円(当日集金します)
- 六、申込締切り: 1月31日(金)まで(申込書は両センターに準備)

参加希望者は、両福祉センターで、申込書に「単位クラブ名及び氏名と生年月日」を記入し提出下さい。藤崎(七五―三三三三)・常盤(七五―二〇五六) ※大会当日は、申込人数で昼食等を準備しておりますので、当日の飛び入り参加はできません。また、欠席する場合は、必ず代わりの人を決めて出して下さい。七、その他

- ①大会は町老連大会ルールで行い、その他必要な事項については、審判長並びに参加者相互の話し合いによって決めます。
- ②表彰は1位～10位迄と、飛び賞・ブービー賞です。また、参加者全員に参加賞を差し上げます。
- ③昼食は、事務局で用意します。
- ④大会会場での「賭け・飲酒・喫煙」は禁止です。

1月行事予定表			
日	曜	行事	時刻
1	水	元日	
2	木	年始休業	
3	金	〃	
4	土		
5	日		
6	月	芸能部	12:00
7	火	日本舞踊部 囲碁・将棋部	12:00 12:30
8	水	役員会 茶道部	10:00 13:00
9	木	囲碁・将棋部	12:30
10	金	芸能部	12:00
11	土		
12	日		
13	月	成人の日	
14	火	囲碁・将棋部	12:30
15	水		
16	木	囲碁・将棋部	12:30
17	金	新年研修会・祝賀会 芸能部	10:30 12:00
18	土		
19	日		
20	月	芸能部 広報委員会	12:00 13:30
21	火	日本舞踊部 囲碁・将棋部	12:00 12:30
22	水	茶道部	13:00
23	木	囲碁・将棋部	12:30
24	金	芸能部	12:00
25	土		
26	日		
27	月	生け花部 芸能部	10:30 12:00
28	火	日本舞踊部 囲碁・将棋部	12:00 12:30
29	水		
30	木	囲碁・将棋部	12:30
31	金	芸能部 【白寿】配布日	12:00 4時以降

常盤養命会の研修旅行 秋の「つがる富士見湖」を満喫

単位クラブ便利

常盤養命会は、会員の親睦を図るため、春と秋の2回研修旅行を行なっています。

10月17日(木)、津軽富士見湖へ、秋の会員研修旅行を実施しました。参加者28名(男性14名・女性14名)で、つがる富士見公園・鶴の舞橋・丹頂鶴公園を見学しました。9時に、常盤コミュニティセンターを出発し、途中「道の駅あるじゃ」で休憩し、富士見公園に10時20分に着きました。早速記念撮影の後、鶴の舞橋を渡りました。

全長三〇〇mで、日本一長い木造の橋「長い木の橋・長生きの橋」ということで、この橋を渡ると長生きできると言われています。皆さん、きつと長生きすること請け合いです。丹頂鶴自然公園では、丹頂鶴の姿を間近に鑑賞することができました。

昼食・懇親会の津軽富士見荘に10時40分に到着し直ぐ入浴後、懇親会が始まりました。会長 小山内昇さんから「いろいろお忙しい中ご参加下さりありがとうございます。皆さんは、大型台風19号の被害もなく良かったです。皆さんは、身体に気を付けて今後ともよろしくお願いします。」続いて、養命会第二会長 戸了さんが「皆さん元気に長生きするよう頑張りますよ。」と乾杯の音頭をとりました。懇親会は、芸能発表会のようにカラオケ、踊りで盛り上がり、帰りの14時は、あつという間に来て



令和元年度 常盤養命会研修旅行 2019.10.17

しまいました。帰りのバスは、おしゃべりタイムで、「楽しかったな!」と、話に花を沢山咲かせました。常盤が近くなって、事務局から「今日の料理良かった?」。皆さんから特別大きな拍手、パチパチと満足マンゾクでした。また、養命会では奉仕活動として、地域ボランティア活動で、毎月15日に常盤八幡宮、20日には「北常盤駅前公園」の草取り・清掃を実施しています。



北常盤駅前公園の草取り作業

古老が語る

「物知りの記録」(7)

大字三ツ屋地区① (平成3年7月2日)

古老6 83歳・古老7 80歳

三ツ屋 戸数の移り変わり

三ツ屋は江戸時代17軒であった。東光寺村(現田舎館村) 高田地区に隣接し、境界が三ツ屋地区で2分し、高田地区の面積が半分、あとの半分が常盤村の三ツ屋で6軒よりなかつた。後に高田地区を譲渡してもらって、常盤村三ツ屋が成立し17軒になった。

昭和29年常盤村合併の時に2軒増えて、現在は19軒になった。三ツ屋は田舎館村の高田との境界になっているので、どこかだかんでやれない、「いぬけんか」(闘犬)があつた。境界の所なので高田でやったが、常盤でやったが? なかなか区別がつけられない場所なので、そのため三ツ屋主導で「いぬけんか」をやつたものだ。(現在、青森県は闘犬王国と言われ、津軽では毎年4回闘犬大会がおこなわれている)



あんか

米の供出制度があつて集落毎に供出割当が決まつており、その割当を出さないで米を隠してはいないか検査にきた。米の強権発動の時は、米をどつと境界外の高田の方へあずかつたものだ。学校があつた 三ツ屋に学校があつた。校舎は新築せず民家の部屋で学習した。教員は一人である。その後、二ツ屋にも学校があつて高田の学校と合併して東光寺小学校になった。

出来事

電気が常盤にきたのは大正6年で、三ツ屋の村の高田経由でできていたが、こちらを外して徳下の方からになった。電灯会社は、弘前電灯会社と青森電灯会社があつた。



灯油ランプ



藁製の履き物類とカンジキ (あおもり北のまほろば歴史館)

た。青森からずつとおしてきたものもあるし、弘前電灯が入ってきたものもある。

常盤本村と三ツ屋との道路はなかつた。桜道を通つたものだ。(田のくろを歩いた)



洗い桶と洗濯板

今の精米所のところは、「しつこ」(湧き水)があつて、村中(三ツ屋)で使つた。

住まい 「かけむしろ」を出入り口に掛け、土間に糠を敷いた。大正の始め頃は皆こうであつた。

夜回りする時、村のはじめは板が下がっているのをそれを叩く、火事があつたとか、なにか事が起きた場合、それを叩く、庄屋の代わりにやつたが、昔はこの家の周りにも水路が通つており、板橋があつたのでそれを叩いた。最初は板も叩いたがその後、火の用心の夜回りは、「びょう木」(拍子木か?) になった。

皆、下駄を履いたものだ。ゴム長になったのは大正に入つてからで、一番先にゴム長靴を履いたのは村長で、その当時6円だかつた。私達は見に行つたものだ。大正8・9年の頃だつたと思う。

戸長 田舎館組の戸長は、部落会長のようなもので、集落の有力者がつとめ、どこの集落にもいた。手当は5円かなんぼの報酬であつた。

歩いて弘前に通学 三ツ屋から旧制中学校に歩いて通学した。その時、汽車は3往復よりなかつた。汽車を待つている時間があれば、歩いた方が帰宅が早かつたからである。

◆ 歯なしの話 94 ◆

佐藤 透

「暑い東京のマラソン」

夏の東京へ行つたことがありますか?

我々北国の日本人には耐えられないほどの暑さです。蒸し暑いのでとても不快です。

さて、この東京で来年の八月にフルマラソンを行うというのですが、実際のところ信じられないわけです。黙っていても暑いのに数時間も走るなんて、考えただけで具合悪くなりそうです。そのことをスポーツというならば、それは我慢大会であつて、スポーツの持つ健康というイメージとは、ほど遠い別物のような気がします。

そこでIOCが札幌での開催を提案してきました。おそらくかなり想像するのですが、選手にしてみたら札幌の方が快適ではないのかと思います。実際、先日の中東のドーハで競歩した選手がしんどかつたとコメントしていました。テレビによると競技を行う同時刻には4〜5度の気温差があるようです。もちろん札幌が気温が低いです。考えてみればマラソンや駅伝などは冬のスポーツではないでしょうか?

私は東京オリンピックが七月から八月に開催されるのが何故なんだろうと思つていました。どうも各国のスポーツ界に事情があるようで、昔の東京オリンピックのように十月とはいかなくなつたようです。更にその時に思つたのは、フルマラソンなどは東京から新幹線で1時間の軽井沢でやればよいのにと思つていました。この地は昔から東京の方々の避暑地であり、夏も快適です。多少の問題点は標高一、〇〇〇mもあることと、霧が出るのかな。そしてサッポロも飛行機では東京から1時間半ほどで、さほど気にすることも無い移動時間を感じます。

……素人の戯言です。

◇◇ 俳句 ◇◇

ルミナリエ一気に消灯冬の月

鳴海 艸人

青空に逢ふこと願う年賀状

木崎 道子

試歩の道少しのぼして冬うらら

福井 伝馬

酒好きも量つつしみて松の内

清水 稼志男

新年の夢を転がす万華鏡

清水 雪江

